

食に関するあらゆる情報を調査「ぐるなびリサーチ部 調査レポート」Vol.36

“ゴールデンウィークの過ごし方”に関する調査

今年カレンダー通り「3連休」が約3割と最多。外食の予算が前年比800円近くも上昇！

株式会社ぐるなび（本社：東京都千代田区、代表取締役社長：杉原章郎）は、ぐるなび会員を対象に、世の中のトレンドに合わせて食に関する様々な調査を実施し、「ぐるなびリサーチ部」として定期的に情報を発信しています。今回は、“ゴールデンウィークの過ごし方”について調査しました。詳細は以下の通りです。

【調査結果ポイント】

- ・今年のゴールデンウィークは、カレンダー通りの「3連休」が29.3%と最多、「10連休」は13.1%に。
- ・ゴールデンウィーク時期の新型コロナウイルスの感染状況の見通しは、全体では「変わらない」が41.9%、「悪くなっている」が32.4%で、昨年と比較すると、「悪くなっている」と考えている人は減少傾向。
- ・ゴールデンウィークにしたいことは「自宅で過ごす」「外食」「ショッピング」がTOP3。「自宅で過ごす」は昨年より減少し、外出関連の予定が増加。
- ・外食の相手は「家族」が72.9%、「友人」が41.1%。
- ・外食の1食1人当たりの予算は5,660円で昨年より800円近く上昇。予算の増減は全体で「増やす」が22.3%、20代と50代では、ともに「増やす」と回答した人が25%以上。

【調査概要】

- 調査期間：2022年4月1日(金)～3日(日)
- 調査対象：全国

- 調査方法：WEBアンケート
- 回答者：20代～60代のぐるなび会員1,000名



ぐるなび

リサーチ部

(株)ぐるなび
リサーチグループ長
本間 久美子

コロナ禍で迎える3度目のゴールデンウィーク、昨年よりも外出が増える傾向。

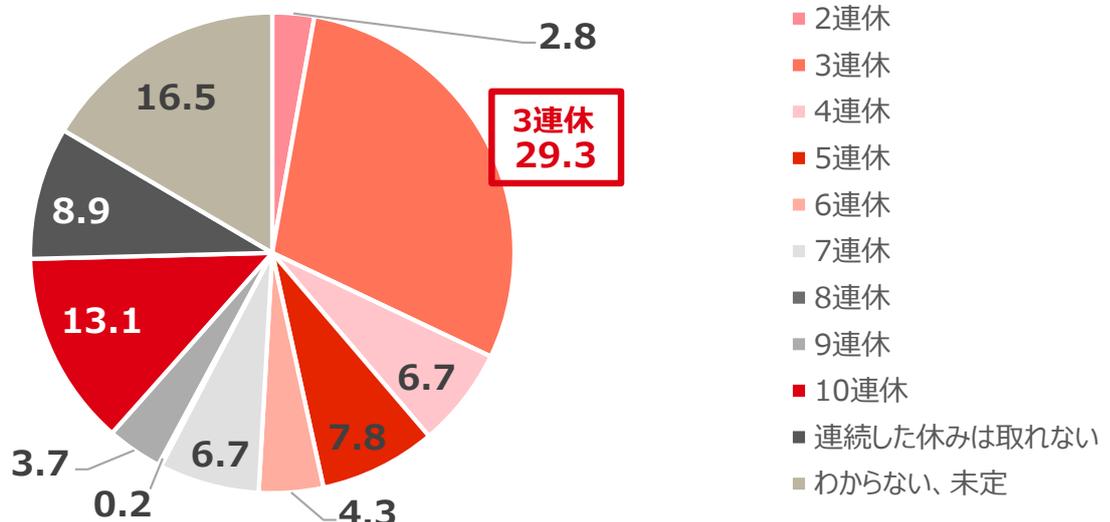
今年のゴールデンウィークは、カレンダー通り「3連休」になる人が約3割と最多。ゴールデンウィークの過ごし方では「自宅で過ごす」は昨年より約5ポイント減少し、「外食」や「ショッピング」が増加しました。

「5連休」が3割で最多だった昨年のゴールデンウィーク調査と比較すると連休が短い傾向にあるため、近場で楽しもうと考える人が多いのかもしれませんが。

また、新型コロナウイルス感染状況の見通しについては「変わらない」が4割超と最多に。大きな変化はないだろうと考え、ゴールデンウィークに「自宅で過ごす」以外の計画を考えている様子が今回の結果からうかがえました。

Q1.今年のゴールデンウィーク（4/29～5/8）は最長で何日間の連休が取れそうですか。

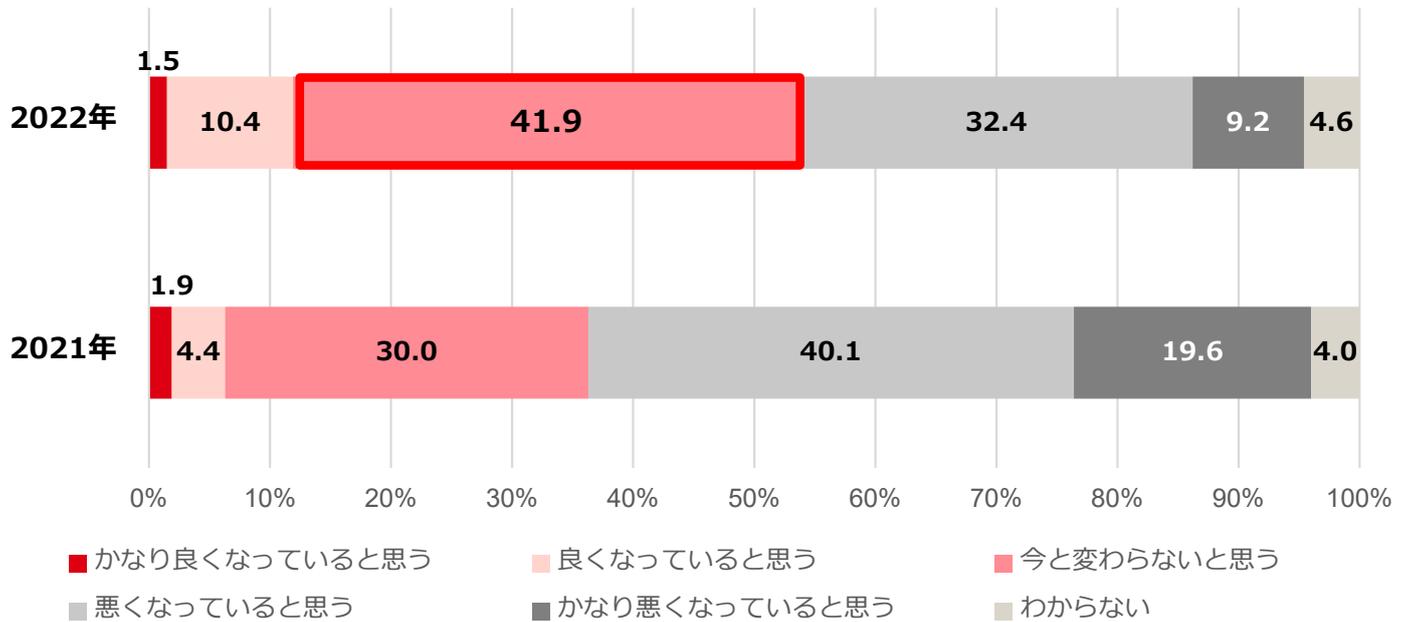
(回答者<有職者>n=564) (%)



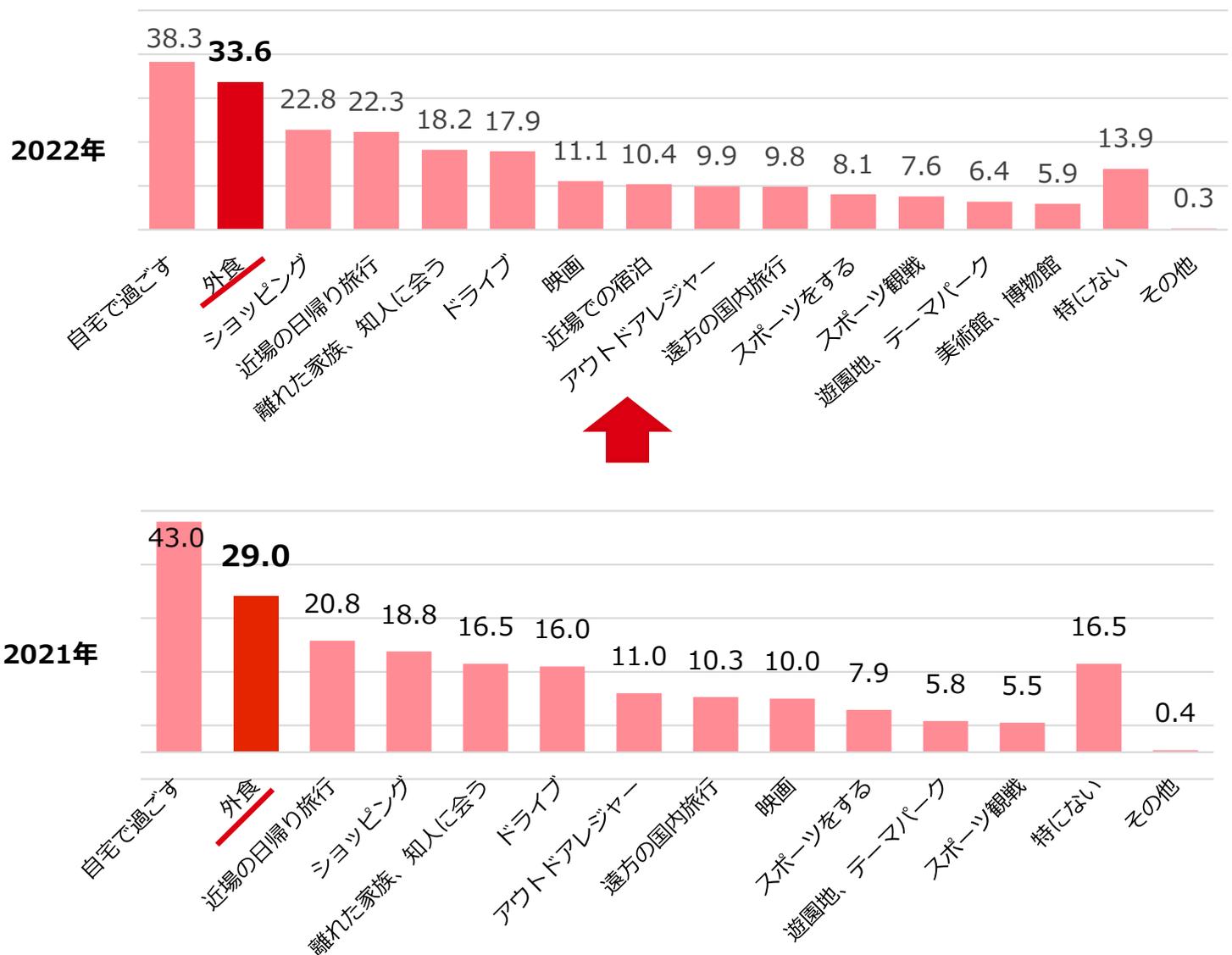
<本件に関する報道機関からのお問い合わせ先>

株式会社ぐるなび 広報グループ MAIL:pr@gnavi.co.jp

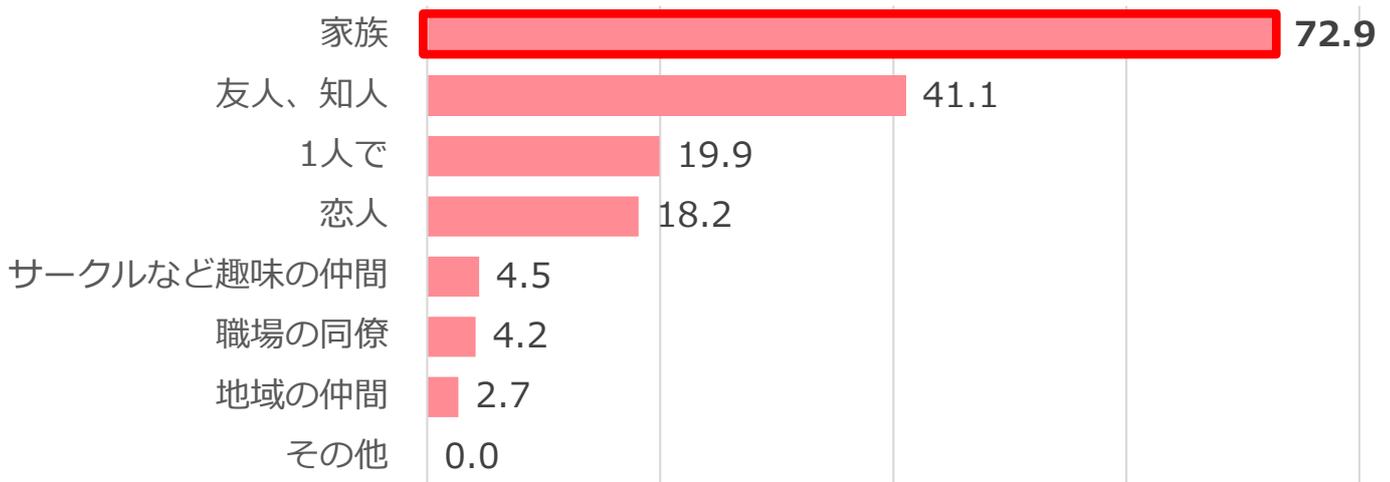
Q2. ゴールデンウィーク時期の新型コロナウイルスの感染状況は、現在と比べてどのようになっていると思いますか。（n数：全体=1,000）（%）



Q3. ゴールデンウィーク中にしたいことはありますか。（n=1,000）（%）



Q4.ゴールデンウィークはどなたと一緒に外食をしたいと思いますか。（外食と回答した人、n=336）（%）

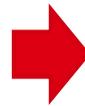


Q5.ゴールデンウィーク中の外食にかかる予算はどれくらいですか。

※期間中に一番高い外食予定の、1食1人当たりの金額

〈2021年〉 (n=290)

〈2022年〉 (n=336)



Q6.ゴールデンウィークの外食にかかる予算について、昨年と比較して増減はありますか。

(外食と回答した人、n=336) (%)

